早稲田大学校友会千葉県支部

支部だより

第 21 号
2026年９月吉日
発行：総務・渉外委員会

特集記事１

～2026年度 千葉県支部 方針～

早稲田大学校友会
千葉県支部長　唐松公三



2026年度は千葉県支部として以下の方針を掲げて活動を行っていく所存です。

１．校友500人以上参加の県稲門祭の開催

県支部最大のイベントである県稲門祭は、今年も500名（目標）を超える県稲門祭にしたいと思います。
同時に県稲門祭の内容もより一層充実していかなければいけません。県内校友が一堂に会し、交流できる場を設定したいと考えております。
県支部大会なので県支部が中心ですが、担当稲門会の方々にも一緒に担当していただきます。
今年は総武線沿線5稲門会（習志野、船橋、鎌ヶ谷、市川、浦安）が担当です。

２．県下各稲門会との連携強化、稲門会活性化支援

① **各稲門会との連携をより密にし、各稲門会の活性化**および県組織の拡充発展につなげる。
同時に、近隣同士の各稲門会間の交流推進に協力する
② 若手育成費の活用
近隣稲門会同士での若手校友参画のイベントへの支援
③ **会長懇談会**を開催することを計画している。
各稲門会で困っていること、稲門会の活動等についての情報交換・相談会
④ 準会員である現役学生との連携を強化
稲門祭出店要員として千葉県学生と連携して参画願う

３．稲門会横断の県全体としての活動の推進

県内の稲門会を横断した、県全体としての活動を広げていきたいと考えております。広く県内校友が参加できるイベントや組織作りを目指す。
① 若手校友の再組織化と活性化
② 女性校友活動のさらなる拡充
③ 部会活動の拡充
⑤ 広報活動の強化（支部だより、ホームページ、SNSなど）

４．大学及び校友会への支援

大学の目標とする「世界で輝く早稲田」に積極的に寄与すると同時に、校友会活動に積極的に参加します。
① 校友会費の納入率の向上促進
② 大学各種募金活動並びに**設立 150 周年記念事業募金**への協力
③ 本部稲門祭への協力

特集記事２

～2026年度 商議員会　田中愛治総長講演～

「早稲田大学の8年間の変化を振り返って」

（2026年7月4日 商議員会講演：大隈講堂）

～白井稲門会 幹事長 川畑達哉氏の資料基に作成～

1. 総長就任の理念と求める人物像（人材育成の基本姿勢）

2018年10月の総長就任以来、田中愛治総長は一貫して「世界で輝く早稲田」「世界で唯一の早稲田」の実現を掲げてきた。これは、早稲田大学の伝統である「学問の独立」「学問の活用」「模範国民の造就」という建学の精神へと原点回帰。大隈重信は、学問は一身一家、一国のためだけにあるのではなく、世界人類に貢献するものでなければならないと考えた。田中総長が就任以来発言してきたことも、突き詰めればこの原点に帰るものである。

その理念を現代社会の要請に即する為の大学改革を強力に推進することに努めた。

学生には、「たくましい知性」、「しなやかな感性」「ひびきあう理性」という三つの力を身につけて欲しいと求めた。組織としては、「自分より優秀な人を恐れずに採用し、適切に育てる」という人事・組織育成を。柔軟に優秀な人材を受け入れ評価する風土を醸成することが、持続的な大学発展の原動力になると捉えている。

2. コロナ禍における「3つの使命」完遂と校友の絆

本学は「被害の最小化」及び「誰一人取り残さない」という方針を掲げ、以下の「3つの最優先使命」を提示して全学対応を展開した。

① 生命と健康を守る

全学生・教職員の安全を最優先とし、徹底した感染防止対策と健康管理体制の確立

② 教育を継続する

オンライン化を実施。PCやWi-Fルーターの貸与支援

③ 研究を止めない

安全基準を満たした実験・研究環境を維持、学術研究活動の停滞を最小限に

また、経済困窮学生を支援する返済不要の「緊急支援給付金」を創設したところ、世界中の校友から温かい支援が寄せられ、わずか2ヶ月余りで10億4,000万円もの寄付金が集まった。「後輩のために」という校友の強い絆と誇りが実証された象徴的出来事となった。

3. 教育・研究・ガバナンス構造改革

時代の変化に即した高次元な教育・研究・社会貢献の循環体制を構築するため、多角的な構造改革を実行。

・教育・高大連携とキャンパス整備

系列校から日本医科大学への特別推薦枠を新設し、文理を超えた医療人材育成に貢献。また、「村上春樹ライブラリー」の開館や、早稲田・西早稲田（理工系）キャンパスの最先端施設充実に注力

・ガバナンスの迅速化

意思決定を行う「コアグループ」を新設。トップダウンとボトムアップを融合させ、「紛争地孤児向け奨学金制度」の早期の創設などを実現

・三位一体の組織体制

従来のリベラルアーツ・データサイエンス教育を担う「GEC」に加え、トップクラス研究を推進する「GRC」、研究成果の社会実装・産学連携を牽引する「GIC」を設立。教育・研究・社会実装が連携・循環する基盤を確立。

4. グローバル挑戦・社会実装・財務基盤の強化

世界最高水準の研究大学を目指し、「国際卓越研究大学」構想への申請・挑戦を推進。このプロセス自体が全学改革を加速させる契機となり、英語学位プログラムの拡充や、最先端AI・次世代エネルギー分野での文理融合研究、スタートアップ支援体制を強力に推し進めた。

財務面では、総資産約2,000億円規模の経営基盤を背景に、安全性を重視した資産運用を展開。運用規模を363億円に拡大させ、得られた運用益を教育・研究支援や奨学金へ還元する持続可能な経営循環を確立した。

5. 結び：2050年に向けた未来への土台づくり

8年間の改革は学術面にとどまらず、野球・ラグビー・箱根駅伝をはじめとする「早稲田スポーツの復活」として結実し、全学・校友に大きな感動と一体感をもたらした。

田中総長は一連の取り組みを「次世代が飛躍するための盤石な土台づくり」と総括。2032年の創立150周年、さらには2050年に向けて「世界で唯一の早稲田」としての結実を願い、講演を締めくくった。

特集記事３

～２０２６年 千葉県稲門祭概要～

2026 年　千葉県稲門祭

『早稲田の更なるグローバル化のために』～一歩前に～



ロシアとウクライナは終結の兆しがなく、イスラエルとガザに至っては停戦後も不安定な状態が続いています。また米国・イスラエルとイランにおいては 2026 年に全面戦争化し、ホルムズ海峡の封鎖によって世界経済に直接の影響を与えています。また、スーダン、イエメン、エチオピア、パキスタンなどその他の紛争も多数起こっており、第二次世界大戦後で最も武力紛争が多い時代に突入しています。
地域紛争が相互に連動し、世界秩序が多極化・不安定化して世界全体が混とんとしている中、日本の果たすべき役割は大きく、そういった中、早稲田大学のグローバル化はますます必要とされてきています。～一歩前に～

2026 年千葉県稲門祭の概要（対面・リモート併用開催）

日時：11 月 29 日（日）　会場：東京ベイ幕張ホール　会費：11,000 円/人　リモート；2000 円/人

第一部　講演会（午後２時３０分～３時３０分）

爆風スランプのヴォーカル　講演者：サンプラザ中野くん

第二部　総長懇談会（午後３時４０分～4 時５５分）　早稲田大学新総長

第三部　懇親会（午後５時 10 分～7 時３５分）

会食（コース料理）／早稲田大学オーケストラアンサンブルによる演奏・応援部のリーダー・チアリーダー・吹奏楽団よる演奏、校歌斉唱（応援部）

早稲田大学校友会　千葉県支部

2026年千葉県稲門祭プログラム

第一部　講演会　講演者のご紹介

《サンプラザ中野くん　ロック歌手/作詞家》



略歴：山梨県甲府市出身（千葉県流山市育ち）
１９６０年8月15日生まれ　B型
趣味　健康、阪神タイガース、スパリスト
2年間のアマチュアバンド活動を経て1984年に爆風スランプのヴォーカルとしてデビュー。パワフルで奥深いサウンド、ユニークかつ斬新なパフォーマンスで人気を博す。ほぼ全ての楽曲の作詞を手がけ、デビュー翌年に初武道館公演を敢行。88年にリリースした「Runner」で紅白歌合戦に初出場。翌年の爆発的ヒットにより、更に幅広いファンを獲得。その後も「リゾ・ラバ（resort lovers）」（'89）「大きな玉ねぎの下で～はるかなる想い～」（'89）「旅人よ～The LongestJourney」（'96）をはじめ数々の楽曲をリリース。デビュー41（よいデビューアルバム名）周年の2025年2月に、爆風スランプの楽曲「大きな玉ねぎの下で」が映画化。
そして今年8月に、35年ぶりとなる爆風スランプ 日本武道館公演の開催が決定！

第二部　総長懇談会；新総長熱く語る

早稲田大学新総長ご登壇



今年は新総長が出席され、総長ご就任にあたってこれからの早稲田大学をどのような方向にもっていき、どのような大学つくりに取り組まれていくのか熱く語っていただきたいと思います。

田中総長任期満了による2026年総長選挙は４月に選挙公示、６月に投票・開票され、９月21日から新総長任期開始となる予定です。

第三部　懇親会

ワセダニアンの校友のみなさんが共に集い、青春の日々を懐かしく語り合うひとときを過ごしていただけるようお食事もお飲み物も豊富に用意いたしました。
又、懇親会のイベントとして男性だけによるチアリーダー「ショッカーズ」によるパフォーマンスを行います。
迫力ある演技をお楽しみください。最後は応援部のリーダー・チアリーダー・吹奏楽団による恒例の校歌斉唱です。
指揮に合わせてみんなで肩を組み早稲田大学校歌を高らかに歌い県稲門祭の終わりを惜しみましょう。

●問合せ先 :早稲田大学校友会千葉県支部
事務局長 増井孝史　E-mail :kobufutagami01@jcom.zaq.ne.jp

※参加のお申込みは各所属稲門会へお願いいたします。

◆TOPICS 1 ～なでしこ・若手の会イベント～

『第2回 3拠点で集うワセ女のランチ会開催』

なでしこ早稲田in千葉
リーダー　橋本美恵子

女性会員同士が気軽に集える機会が欲しいという多くのお声から、アクセスのしやすさを考慮して県内3拠点のレストランで日にちを分散したランチ会を２年前に企画し大好評でした。その後も多くのリクエストをいただき、２年ぶりに開催する運びとなりました。

まず１回目は、７月19日（日）市川稲門会の長田さんがセレクトしてくださったビストロnombre（市川）に９稲門会から１５名のワセ女が集い、旬の食材や鮮度にこだわったシェフの料理を堪能しながら、教育、政治、稲門祭、庭にアライグマが出没など様々な話題が笑い声とともに各テーブルから聞こえ、2時間があっという間に過ぎるほどの大盛況でした。2回目は、9月20日（日）12時～千葉中央駅隣の京成ホテルミラマーレ６Ｆ中華料理　影山（費用：4,000円位＋飲み物代）で行います。　担当は井上さん（市原稲門会）。3回目は、11月上旬ごろ、八千代市内を検討中です。担当は安倉さん（白井稲門会）。お申し込みは、nmrbj7293@yahoo.co.jp 橋本までお願いします。多くのワセ女の皆様のお申し込みをお待ちしております。



2026年7月19日　市川ランチ会





左記のイベントの内容やお申込み方法は、千葉県県支部ホームページをご覧ください。
（８ページにQRコードがあります）

若手稲門のつどい

千葉県支部では、県下に在住/在勤の若手校友会の皆様がご自身の地域稲門会及び他地域の稲門会の若手メンバーと交流/親睦を深めていただく「若手稲門のつどい」を計画しております。「他地域の若手校友と交流したい」「自分の地域の稲門会は初めてだけど興味がある」そんな皆様からのお申込みをお待ちしております！

開催日　2027年2月28日（日）
第一部 講演会　開場 10 時　開始 10 時半
会場:イオンコンパス幕張会議室中会議室
講師　相澤和也様（株式会社Uduki研究開発部研究員）
早稲田大学大学院にて自立エージェント工学を専攻、環境の変化に応じて振る舞いを変える自己適応システムの研究に従事。
第二部 懇親会会場 はなの舞プレナ幕張店
１２時開始終了１４時
会費　49歳以下 2,000円
50歳以上　5,000円
お申込み期限　2027年2月20日

お申込み方法など詳細は県支部ホームページをご覧ください

◆TOPICS 2　～その他支部の活動について～

2026稲門祭「千葉県支部出店」

事業委員長
森山泰充（佐倉稲門会会長）

2026稲門祭は10月18日(日曜)早稲田大学キャンパスで盛大に開催されます。

校友会が主催する最大のイベントで、今年のテーマは「稲門は、縁だ。力だ。～個の時代。だからネットワークが価値になる～」です。ホームカミングデーも同日開催されて、稲門の絆を深める一日でもあります。

当日、千葉県支部は例年通りに本部キャンパス11号館角の好立地に「千葉県物産の販売と千葉県支部活動のＰＲ」を目的としてテント張りで出店します。

八街の落花生各種、野田のサクサクしょうゆ、そして新規に南房総の枇杷加工品の販売を予定しています。300個の商品は例年昼過ぎには完売しています。

今年も石橋副事業委員長(八千代稲門会会長)が「店長」として販売の先頭に立ちます。事業委員会メンバー、「なでしこ早稲田in千葉」に加えて、今回から千葉県在住の学生の参加も得たので、終日笑顔でコミュニケーションが盛り上がる出店になることでしょう。



2025年稲門祭での出店風景

稲門祭当日は音楽イベントやトークセッションのほか、120以上の模擬店で賑わいます。ご友人ご家族と一緒にゆっくり母校探訪して楽しまれますよう、そしてご来場の皆さまには千葉県支部出店販売の助っ人応援を期待しております。

大隈銅像近くに出店しています。千葉県支部の幟とえんじの法被、そしてチーバくんの縫いぐるみマスコットを目指してお越しください。お待ちしております

会長懇親会のご報告

総務・渉外委員長
髙橋孝志（流山稲門会会長）

8月29日、船橋のイタリアンレストランで千葉県稲門会各支部の会長が一堂に会し、懇親会が行われました。欠席一人、総勢20名（代理出席2名）の支部の会長と県支部から3名の出席となりました。会長懇親会は最近では3年前の成田で行われて以来久しぶりの開催です。



唐松支部長のご挨拶に始まり、各稲門会が抱える問題について話し合いが行われました。習志野稲門会土肥会長からは「なでしこの会」の活動として今年春の稲門寄席、秋の防災講演&バスツアー、来春の柏たなか近くの三共フロンティアのホールで行う予定の「早稲田音楽祭」のご報告があり、又三つの稲門会支部が合同で若手の会を行った事例のお話しがありました。流山からは私が参加したのですが、ホームページ作成の経緯、昨年の「流山市民祭り」に出店し新規会員の申し込みが６名あったことなどをご報告しました。食事は和やかに進み、なかなか直接お話する機会がない会長たちですが、今回は有意義なお話しができたようです。



◆TOPICS 3　～周年総会を迎えた稲門会紹介～

～成田稲門会90周年～

「成田稲門会90周年を迎えて」

成田稲門会幹事長　五十嵐玲彦

このたび、千葉県支部より成田稲門会総会の執筆の機会をいただき感謝申し上げます。

本年の総会は、昭和11年（1936年）8月17日に「早稲田成田会」として誕生した当会の90周年記念式典を兼ねて開催されました。70周年には約90名が集い、大島信三氏の記念講演や友納あけみ氏のライブで祝いましたが、今回は36名の参加ながら、その半数が平成以降の卒業生で占められ、世代交代と未来への広がりを感じさせる節目の会となりました。



記念講演では、元成田市副市長の関根賢次会員が「成田祇園祭の歴史」をテーマに講演されました。地域の伝統文化に対する深い見識と郷土愛あふれるお話に、参加者は熱心に耳を傾け、改めて地域とともに歩む稲門会の意義を実感する機会となりました。

懇親会では、市川学園出身の仲間、学生時代の同級生、そして母娘二代を含む「わせじょ」三代など、多彩な繋がりが会場を和ませました。また司会や企画運営も若い世代へと引き継がれ、新たな力が会を支えていることを頼もしく感じました。

さらに、石川会長が提唱する「遊びの会成田」では、現役学生への職業紹介や新年会への招待などを通じ、学生との交流を継続しています。今後は県内各地の稲門会とも連携を深め、世代や地域を超えた新たな交流の輪を広げていきたいとの思いを一同で共有しました。100周年へ向けて歩みを進める決意を新たにした、心に残る記念総会となったことを報告いたします。

～佐倉稲門会40周年～

「未来へつなぐ佐倉稲門会の絆」

佐倉稲門会会長　森山泰充

佐倉稲門会は創立40周年の節目を迎えることができました。屈託なく付き合うことができる人間関係と和気あいあいとしたつながりを大切にして、多彩な行事開催そして活発な同好会活動をこれまで進めてきました。

創立時から続く地域の文化向上への寄与が目的の「ふれあいコンサート開催」、1994年から定例化した「里山散策と野草を食べる会」、開催13回を重ねた「佐倉稲門会・佐倉三田会合同講演会」、2001年から始めた「中山競馬場特別来賓室競馬観戦」ほかのイベントは、近隣稲門会や佐倉三田会の交流参加も得て毎回盛り上がっています。



40周年記念として本年3月開催した「クミココンサート」も役員と会員が一体となった運営と地域のご支援により成功裡に終えることができました。

親睦の輪を拡げて共に歩んでいくための「40周年記念誌」（56頁）を6月刊行。

6月14日「記念総会」開催、菊池馨実早稲田大学理事、三好裕明課長始めご来賓含めて70名、和太鼓サークル学生14名、合わせて84名で40周年を祝いました。松居辰則教授ＧlobalCtizenshipCenter長の講演「貢献の早稲田の司令塔ＧＣＣが目指す人間的力量教育のビジョン」では、他のために貢献する精神と行動力を育む母校の素晴らしい姿をあらためて学びました。

そして昨年に引き続き「さくらあったか食堂ネットワーク」に寄付、市内の社会福祉活動を少し援助することができました。

佐倉稲門会はこれからもワセダの絆、人のつながりを大切にする心豊かな憩いの場であり続けます。

～市原稲門会20周年～

「市原稲門会20周年記念事業」

市原稲門会幹事長　重田育哉

市原稲門会では20周年記念事業として、年に3回発行している会報の特大号を6月28日の総会の席で配布、普段は16ページの会報を36ページに増刊しました。会員ら28人が入会のきっかけや、活動の思い出をつづった投稿企画『私と稲門会』を本人のポーズ写真付きで一挙、掲載したほか、最近10年の新年会・納涼会といったイベントや、スポーツ・娯楽などの部活動を紹介した写真集も載せました。会報は県下の全稲門会の会長あてに郵送などでお配りさせていただいたので、目に触れた方もいらっしゃると思います。

記念の総会では校友で全日本川柳協会副理事長の江畑哲男さんに『川柳で紐解く、日本語再発見』という題で、楽しくもためになる特別講演をしていただいたほか、懇親会ではこれまでに市原稲門会のイベントに出演していただいた数々のバンドのうち、特に人気が高かったブラジル音楽の『フロール　ジ　ジュゼイロ』の皆さんに再登場願いました。



活動方針の一つとして、市原稲門会は地元への貢献を掲げていますが、20周年の記念に市民開放型の講演会を5月17日に開催しました。市内の中核病院の千葉ろうさい病院前院長岡本美孝氏が『地域医療の賢い活用術』というタイトルで講演、市原市民会館の大会議室が市民の方々で満員になりました。今後も地域活性化策に関する講演などを企画して地域の多くの方に稲門会の存在を知っていただく考えです。

千葉県支部の各種活動は、ホームページもご参照下さい。

早稲田大学校友会　千葉県支部ホームページ

http://waseda-alumni-chiba.com/

編集後記

先日、会社帰りの津田沼駅エスカレーター。 目に入ってきたのは、前に立った人のカバンについたキーホルダー。 「SOC」と書いてある。まさかと思いましたが、確かに「School of Commerce」。我が商学部のキーホルダー。 同年配の方だけど知らない人だし、いきなり話しかけたら、単なる不審者。 驚いてころげ落ちてしまうかもしれない。何もできないまま、やがて改札を 出ると右に歩いていく姿を見送った。習志野市方面だ。残念ながら船橋では なさそう。 考えてみれば、千葉県内には、多くの校友がいます。皆さんも毎日知らな い内にすれ違っているかしれません。 さて、今回の支部たよりも、様々な活動報告や今後のイベント情報がいっぱいです。是非この支部たよりを、まだ稲門会に入っていない知人の方や、 各所イベントに来場された方へもお渡しください。大学稲門祭でも、千葉県 ブースで配布します。

（総務・渉外委員会 椎名 ）



2026年9月10日撮影 建築の進む、新9号館